

学 会 録 事

1. 第4回持ち回り評議員会報告(平成14年11月15日開催)
堀口健雄氏(北海道大)から提案者を代表して、より一層の藻類学会活動活性化のためのワーキンググループを組織することが提案され、これに基づき、(1)ワーキンググループ組織化の賛否、及び(2)その際にワーキンググループの人選・組織編成を提案者と学会事務局に一任することの2件の議案について審議した。その結果、反対意見はなく2件とも承認された。今後、オブザーバーとして事務局から1名を加えたワーキンググループを早期に組織し、藻類学会活性化のためのアクションプランの策定・検討等を進め、実施にあたっては、評議員会、総会に諮ることになる。

2. 秋期シンポジウムの開催

2002年度日本藻類学会秋期シンポジウム「新しい海藻由来

の製品の科学的検討」が、日本海藻協会と応用藻類学研究会との共催で、2002年12月6日午後1時より、東京・日本橋のロイヤル・パークホテルにおいて開催された。

講演者名と題目は次の通りである。

1. 機能性食品としてのフコイダンとオリゴ糖—その構造と生物活性：加藤郁之進、2. 低分子化アルギン酸ナトリウムの機能性と食品への利用、志多伯良博、3. 海苔由来ペプチド類の血圧調節作用：川合正允、4. アルギン酸の工業への利用、宮島千尋、5. 海藻配合化粧品—海藻の化粧品利用への可能性—：箕浦一彰、6. 海藻肥料による土壌改善と農産物の増産と品質向上：大野正夫。

企業関係者を中心に200名ほどの出席があり、活発な討議がなされた。またシンポジウム後に開かれた懇親会には80名が出席し、和やかな中で積極的な意見交換が行われた。

「21世紀初頭の藻学の現況」のホームページ公開と冊子体販売のお知らせ

日本藻類学会創立50周年記念出版

「21世紀初頭の藻学の現況」のホームページ公開と冊子体販売のお知らせ

日本藻類学会では50周年記念行事の一環として、今世紀初頭の藻学の現況を広く知ってもらうことを目的に、基礎から応用にわたる様々な藻類に関する最近の話題をわかりやすく解説した解説集を編纂いたしました。今回の企画の目玉は、学会の社会貢献のひとつとして、すべての内容を無料にて学会ホームページからpdfファイルとしてダウンロードできるようにしたことです。会員の皆さんもどうぞご活用くださるとともに、周りの方への宣伝もお願いいたします。学会ホームページは

<http://www.kurcis.kobe-u.ac.jp/sorui/>

です。ダウンロードは面倒である、全部の内容を一括して入手したいという方のために、冊子体も作製しました。こちらは有料にてお分けいたします。購入ご希望の方は下記までご連絡ください。ただし、ホームページからのpdf版はカラー写真を含みますが、冊子体はすべて白黒印刷となります。



「21世紀初頭の藻学の現況」日本藻類学会発行 堀輝三・大野正夫・堀口健雄編 2002年12月発行 49項目(各項目2~4頁) B5版 153pp.

冊子体販売価格 1冊 3,000円(送料込み)

購入申し込み・問い合わせ先：

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究科

FAX：011-706-4851

E-mail：horig@sci.hokudai.ac.jp

日本藻類学会創立50周年記念行事実行委員会

